

くわなべついでんほんとうじほうおんこうあんない  
**桑名別院本統寺報恩講案内 (20日)**

- 10:30～ 音楽法要 (三重教区仏教讃歌合唱団ひかり)  
 11:20～ 法話 伊東 恵深 氏 (松阪市 西弘寺住職)  
 13:30～ 初逮夜法要  
 14:40～ 法話 伊東 恵深 氏 (松阪市 西弘寺住職)  
 15:30～ 初夜勤行 引き続き 御伝鈔  
 御伝鈔上巻 (山崎 信之 氏) 御伝鈔下巻 (渡邊 恵 氏)

ほうようしだい  
**法 要 次 第**

- 10:30～ 音楽法要
- 13:30～ 初逮夜法要  
 正信偈 (上-45丁右)  
 念仏讃 真四句目下 (上-129丁右)  
 和讃 淘八  
 五遍反 弥陀成仏ノコノカタハ 次第六首  
 回向 我說彼尊功德事 (上-108丁右)  
 御文 大坂建立 4帖目第15通
- 15:30～ 初夜勤行  
 正信偈 (上-30丁右)  
 念仏讃 同朋奉讃式 (上-352丁右)  
 和讃 弥陀成仏ノコノカタハ  
 回向 願以此功德  
 御伝鈔 拝読者 御伝鈔上巻 (山崎 信之 氏)  
 御伝鈔下巻 (渡邊 恵 氏)  
 ※ ( ) 内は「大谷声明集(緑本)」です

## 合唱団ひかり

音楽法要とは、1961年(昭和36年)の宗祖親鸞聖人七百回御遠忌の際に、近代音楽で違和感がなくどなたでも参加しやすい法要を願ってはじめられたものです。

本山では、毎年4月1日に「親鸞聖人御誕生会慶讃音楽法要」が勤められます。この法要は全国各地から参集した同朋の合唱によって勤められます。その法要に三重教区から参加された方々より「三重教区でも仏教讃歌を歌える場がほしい」との声が高まり、1995年(平成7年)に合唱団「ひかり」が結成されました。現在、月に1度の定期練習を重ね三重教区内はもちろん、さまざまな音楽法要の場に参加し合唱を通して同朋の交わりを深めております。

桑名別院では、4月4日の花まつり子ども大会、12月20日報恩講初日の午前中にこの「ひかり」による音楽法要が勤められます。

## ご でん しょう 御 伝 鈔

20日、午後3時30分より初夜勤行をお勤めしたあと、引き続いて『御伝鈔』の拝読があります。『御伝鈔』とは親鸞聖人の御生涯を伝えるものであり、本願寺第3代覚如上人が撰述した『本願寺聖人伝絵』から詞書きの部分を集めたものです。『本願寺聖人伝絵』は詞書きとそれを図示した絵が交互に書かれており、図絵の部分を書軸としたものを『御絵伝』と称し、報恩講の際お内陣の南余間に四幅掛けられます。

『御伝鈔』は上巻8段・下巻7段からなり、当桑名別院では20日に拝読いたします。

## とき お 齋

お齋とは各寺院・御門徒宅での報恩講はじめ法事などの仏事に出される食事のことです。元来仏教の出家者は1日1食とされ、正午以後に食事をする事は「非時(ひじ)」として禁止されてきました。そのことから午前1度の食事を「お齋(おとき)」といたしました。

「寄り合い」や「講」として、ご門徒が寺や道場に集まり、仏法を聴聞し、持ち寄った野菜で料理を作り、一緒に食事を通して人と人のつながりを深め、信仰を確かめ続けてきました。中でも真宗門徒にとって一番大事な仏事「報恩講」にその伝統が引き継がれているのです。

桑名別院の報恩講においても、三重県内各地のご門徒より材料が持ち寄られ、お勝手方によって独自のお齋を用意いただきます。